

令和4(2022)年度「全国学力・学習状況調査」結果速報

令和4年8月
下野市教育委員会

調査について

1 調査の概要（「全国学力・学習状況調査」実施要項より一部抜粋）

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査実施日

令和4(2022)年4月19日(火)

(3) 調査対象

- ①小学校調査：小・義務教育学校第6学年
- ②中学校調査：中学校第3学年、義務教育学校第9学年

(4) 調査事項及び手法

①教科に関する調査

- ・小学校調査：国語、算数、理科
- ・中学校調査：国語、数学、理科

②児童生徒質問紙調査

- ・内容：学習意欲、学習方法、学習環境、家庭学習等
- ・方法：選択回答式
- ・質問数：69項目＋教科に関する項目6問

③学校に対する調査

学校における指導に関する取組や学習環境等に関する質問紙調査を実施する。

(5) その他

本調査の結果は、学力の特定の一部であること、学校における活動の一側面であることに留意し、児童生徒の全般的な学習状況への指導・改善等につなげるよう留意する。

2 本市の参加状況 ※参加人数は最も多かった教科のもの

調査対象内訳	参加校数	参加人数
小・義務教育学校第6学年	9校	503人
中学校第3年・義務教育学校第9学年	4校	467人

本市の結果について

※小学校には義務教育学校前期過程、中学校には義務教育学校後期課程を含みます

1 概要

【教科に関する調査の結果】※下野市と県、全国の平均正答率の比較

◎ 大きく上回っている(5ポイント以上)、○ 上回っている(1ポイント以上5ポイント未満)
 — 同じ(±1ポイント未満)
 ▽ 下回っている(1ポイント以上5ポイント未満)、▼ 大きく下回っている(5ポイント以上)

小学校第6学年			中学校第3学年		
教科	県との比較	全国との比較	教科	県との比較	全国との比較
国語	○	○	国語	○	○
算数	○	○	数学	◎	○
理科	○	○	理科	◎	◎

2 結果の推移(全国平均正答率との比較)

【直近10年間の結果】

◎ 大きく上回っている(5ポイント以上)、○ 上回っている(1ポイント以上5ポイント未満)
 — 同じ(±1ポイント未満)
 ▽ 下回っている(1ポイント以上5ポイント未満)、▼ 大きく下回っている(5ポイント以上)

学年	教科	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4
小学校第6学年	国語A	○	▽	▽	◎	○	○	○	一斉実施なし	○	○
	国語B	○	○	◎	○	○	○				
	算数A	○	—	◎	◎	○	○				
	算数B	○	○	○	○	○	○				
	理科			○			○				
中学校第3学年	国語A	○	○	○	○	—	○	○	一斉実施なし	○	○
	国語B	◎	○	○	◎	○	○				
	数学A	○	○	○	○	○	—				
	数学B	○	◎	◎	○	○	○				
	理科			○			○				
	英語						○				

※平成31年度よりA問題とB問題の区分なし

児童生徒質問紙調査の結果について

質問別肯定率(「当てはまる」「どちらかという当てはまる」の割合)が算出できる項目や、読書・学習時間等における項目での「全くない」以外の回答率より全国・県平均との比較を行った(全63項目)。小学校第6学年では、県との比較では44項目、全国との比較では55項目が同程度または上回る結果となった。中学校第3学年においては、県との比較では58項目、全国との比較では59項目が同程度または上回る結果となった。